

ベースボールカフェ



Baseball cafe
NO.9

2019年2019年7月15日
三好ベースボールアカデミー
三好泰宏

TEL・FAX 011-897-3535

携帯 090-59892587

E-mail: my.baseball.1977@jcom.zaq.ne.jp

ご挨拶

南北海道大会が始まりました。昨年は100回記念大会で北代表は旭川大高校、南代表は北照高校が出場しました。今年も両校は全道大会に出場しています。

さて、南大会の公式練習を見学してきました。

感想を書きながら思い出など語って見ることにします。

公式練習

第101回 全国高校野球選手権
南北海道大会
札幌円山球場
7/15(日・祝) 16(火) 17(水) 18(木) 20(土) 21(日)

主催 朝日新聞社・(一財)北海道高等学校野球連盟
主管 (一財)道高野連札幌支部 当番校 札幌東陵高校
後援 北海道教育委員会

このたびの練習内容を見ると、監督、コーチがノックする守備練習が多くバッティング練習は一校だけであった。

練習パターンは、外野でキャッチボール、遠投、クイックなど行ったあと、シートについて守備練習に入るが、その順序が異なるくらいで、工夫を凝らした練習と言え、走者を付けてと投手のバント処理と投手がベースカバーに入る練習を多めに行ったくらいで、注目する練習はベースランニングくらいであった。

その守備練習の中で気になるものが三つあった。一つはセカンドゲッツの時の二塁手のベースを踏む足である。基本は左足である。プロ野球をみるとわかるが、右足で踏む選手はいない。

もう一つは、外野手のバックホームのワンバウンド返球である。出来ているチームもあったが、大半が意識的に返球しているようには見えなかった。

練習前の遠投練習ではワンバウンドで投げる練習をやるとうい。

もう一つは、キャッチャーフライのノックである。フェンスに衝突して骨折して出場できなくなった選手が過去にいた。ここは指導者が練習しなければならない。左右と後ろの3か所に上がるような練習です。

練習時間も20分と短く試合前の7分間シートノックの延長のような練習ではなく、工夫を凝らす練習となれば打撃練習も組み入れて欲しい。

初出場と経験校とはおのずから違いが出てくると思うが、打撃練習でどの程度の距離を飛ばせるか、ボックスでの雰囲気も味わってみる。

甲子園の公式練習 (余談)

センバツ大会の公式練習日、朝、大阪の日生球場で練習していると雨が降ってきたので公式練習には行きませんと毎日新聞に電話したら大目玉を食った。

選手権大会の初出場の時、前のチームが兄弟校だったので早めに終えた時間を拝借して球場に出ると、ここでも大目玉を食った。

甲子園は背番号を付けて練習するようになっている。ある学校が番号を取り換えて練習することが発見されて大目玉を食った。

北海道は普段の練習着でやっているが、甲子園は報道陣の取材を優先している。

初めての甲子園の時、最初のノックで空振りをした、と、ベテラン監督から聞いたことが頭にあって緊張したものである。打球が飛んだ時はやれやれと思ったが、外野に打つときは土が柔く踏ん張りが効かなかった。2回目からはスパイクの刃を長くしてもらった。

普段の練習ではインフィールドでトスバッティングをやっていたので甲子園でもやったら大目玉を食った。

甲子園は怖いところである。監督会議に遅刻したら入室出来ず廊下で説明を聞いていた監督がいた。

監督、選手証を胸につけていなければ試合当日でも入場できない。その管理は部長の仕事である。

甲子園には魔物がいる。私の魔物は暑さであった。今年の代表校は21日に決まる。



(写真は往年のキャッチャーノック)